

市政に関する一般質問

12月定例会は18名の議員が質問

幼稚園、保育所等の無償化について

芝田 裕美 議員

無償化の対象となる施設、利用者、利用料などについて伺います。

幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳の全ての子供の利用料が無償化され、ゼロ歳から2歳の子供の利用料については住民税非課税世帯を対象として無償化が予定されています。市としては無償化で、どの程度の財源が新たに必要になるかと試算していますか。

現段階では国の制度設計の詳細は判明していませんが報道によると市町村に求める負担は総額で3千億円とされています。

広報の全戸配布について

針貝 和幸 議員

広報の折り込み部数と世帯数を伺います。

新聞折り込みとポスティング等による個別配布のみでお答えしますと、平成30年11月現在で新聞折り込み部数が3万1千490部、個別配布部数が2万2千717部となっています。また、平成30年11月1日現在の住民基本台帳人口における世帯数は4万9千242世帯とな

っています。昨年同時期と比べ、折り込み部数は減少し、世帯数は増加しました。全世帯に配布するため、白井市では全戸配布を行っています。これをどう評価しますか。

学校・通学路周辺の危険な竹ヤブ等の空地の現状と対応策

津久井 清氏 議員

鎌ヶ谷小学校の通学路沿いに防犯面で注意が必要な竹やぶがあり、地元自治会からも草刈りの要望がありますが、市の対応経過を伺います。

土地所有者が遠隔地に住んでいるため、あき地の雑草等の除去に関する条例に基づき本年は3回の文書による是正指導を行っています。市への連絡等はありません。

条例には、助言、指導、勧告、立入調査しか記されていません。その他の対策はないのでしょうか。

現行の条例には、その他の規定はありません。東葛6市内、松戸市、柏市、流山市、我孫子市では代執行の規定を設けています。本市も代執行を含めた条例改正を考えるべきと思いますが、

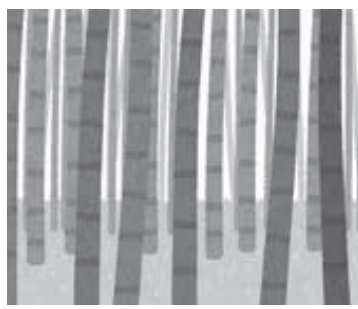
本市としても自治体に負担を生じさせないような制度設計を求めていく必要があるものと考えています。



できていない状況にあります。広報が全戸に行き渡る状態が好ましいという事は申し上げるまでもないことだと思います。



強制的な力を持つ条例の有効性は認識しています。条例化している自治体を参考に早急に調査研究します。



高齢者支援の施策について

矢崎 悟 議員

ききょう号を利用する高齢者数は、年間10万人と推計されています。通院や買い物など、ほぼ毎日、ききょう号を利用する高齢者のための定額パスの導入について、市の見解を伺います。

定額パスなどの導入は、利便性の向上につながるものと考えます。運行事業者の収入分配など課題もありますが、高齢者が利用しやすい環境となるよう、検討します。

健康増進を図ることを目的に健康ポイントや介護支援ポイントの交付を行う自治体も存在しており、楽しみながら健康づくりに取り組むなどの、効果が期待できると感じます。ポイント制度についての見解を伺います。



高齢者等への支援・制度について

森谷 宏 議員

避難行動要支援者避難支援プラン全体計画の具体的な進め方について伺います。

災害発生時に要支援者の避難支援を的確に行うための情報を平常時から把握するため、避難行動要支援者名簿を作成します。次に、要支援者に対し、名簿情報を自治会など避難支援等関係者に提供し、より同意確認を行った後に同意者名簿を作成し、避難支援等関係者に名簿を提供し、日常的な声かけなど顔の見えの関係を構築し始めてほしいと考えています。

要支援者の対象について伺います。

介護認定の要支援1から要介護2までの高齢者でひとり暮らしの人や高齢者世帯の

を伺います。高齢者の健康づくりや生きがいづくりにつながるなど、ポイント制度は、そのきっかけや継続に寄与するものと考えています。制度の実施に当たり、調査研究を進めていきます。

救急搬送の現状と改善策について

宗川 洋一 議員

新鎌ヶ谷地区の主要地方道船橋・我孫子線が渋滞時に緊急車両が立ち往生してしま

すが、その原因について伺います。

移動式のガードレール、通称駒置き式ガードレールが設置されており、渋滞時には一般車両が道を譲ることができ

きない状態です。新鎌ヶ谷駅南入口と丸山三丁目ふれあいの森前の2カ所の交差点で緊急車両が止まることがありますが、見解を伺います。

緊急車両を管轄する部署から緊急車両の走行環境の改善要望がある中で、何らかの

鎌ヶ谷市の街づくりについて

池ヶ谷 富士夫 議員

今後の財政状況を堅持するため、将来に向けて、どのような財政運営に取り組むのか伺います。

今後の少子高齢化の進展による市税収入への影響や社会保障費の増加、公債費の増

安心して住み続けられる住環境の対策について

佐竹 知之 議員

震災時は、家具等の転倒による事故が多いため、あらかじめ固定用具で家具等を固定しておくことが大事だと思

います。そこで、所得の低い家庭に対し、固定用具の費用や取り付け工事費の一部を助成すべきと考えますが、

市の考えを伺います。大きな揺れの地震が発生した場合、家の中の安全対策として家具等の転倒防止金具等の設置は有効な手段であり、必要な備えであると考えますが、費用助成については検討課題の一つとします。

国が進める地域経済活性化策の対応について

松澤 武人 議員

マイナンバーカードの活用について伺います。

子育てに関する手続をオンライン上でできるようにする子育てワンストップサービスの導入、住民票等の証明書のコンビニ交付、マイキープラットフォーム(注)を活用したマイナンバーカードの図

書館カードとしての利用や地域産物等が購入できる地域経済応援ポイントの導入等があります。

鎌ヶ谷市におけるマイキープラットフォームの検討状況について伺います。平成30年9月9日現在で自治体ポイントによる、ふる

対応が必要であると考えています。

例えば駒置き式ガードレールをラバーボールに変えて、その外側を緊急車両専用の優先レーンにすることも考えられますが、いかがですか。

渋滞時の緊急車両の通行改善は重要な課題であり、その中で、ご提案の件も含めて調査検討していく必要があるものと考えています。

を継続し、国の補正予算等による交付金の有効活用など、時機を逸さない対応、企業誘致を促進し、自主財源を確保するなど、あらゆる手段を講じて財政基盤の強化に努めるとともに、市民サービスの向上と健全財政のバランスを図ることで、今後とも持続可能な財政運営の推進を図っていきます。

ベッドを頑丈なフレームで囲む耐震ベッドの設置補助について検討することはできないか伺います。

耐震ベッドは、人命を守るために一定の効果はあるものと思いますが、建物倒壊の危険性は改善されませんので、本市の地域性の中でのメリット、デメリット及び近隣市の状況について引き続き調査研究していきます。

さと製品のインターネット販売に参加している団体が全国で61団体、商店等の活用が30団体です。千葉県内では船橋市、成田市及びいすみ市の3市が自治体ポイントによるふるさと産品のインターネット販売を開始しています。鎌ヶ谷市は現時点で具体的な検討には至っていませんが、自治体の活用事例や総務省からの情報収集に努めています。

(注)マイキープラットフォーム：マイナンバーカードを様々なサービスを呼び出す共通ツールとして利用するための情報基盤